

小泉環境相ニュース

① 小泉環境相、国連本部で演説「今日から我々は変わる」

9/23(月) 19:35 配信 読売新聞オンライン

小泉環境相、国連本部で演説「今日から我々は変わる」

米ニューヨークの国連本部で開かれた「気候行動サミット」関連会合でスピーチする 小泉環境相＝船越翔撮影

【ニューヨーク＝船越翔】小泉環境相は22日、米ニューヨークの国連本部で開かれた「気候行動サミット」の関連会合でスピーチし、地球温暖化問題について「今日から我々は変わる。脱炭素社会に向けて、世界各国と協力していきたい」と訴えた。小泉氏の外遊は閣僚就任後初めてとなる。

小泉氏は、東京都や京都市が2050年までに二酸化炭素（CO₂）の排出量を実質ゼロとすることを目指していると紹介した。その上で、演説前に横浜市に同じ目標を掲げるよう要請し、受け入れられたと説明した。「私の就任後10日間の成果だ」と述べ、拍手を誘った。

小泉氏は22日、12月の国連気候変動枠組み条約第25回締約国会議（COP25）の開催国となるチリのシュミット環境相とも会談した。情報交換などの連携を強化する考えで一致したという。

小泉氏は記者団に「スピード感を持ってできることは全部やる。日本は本気だということを見せたい」と語った。小泉氏は23日、気候行動サミットに参加するほか、米国やドイツなどと2国間会談も行う

② ニューヨークを訪れている小泉進次郎環境大臣は国連の環境関連のイベントで演説しました。

小泉環境大臣：「日本は1997年に京都議定書を採択したが、リーダーシップを発揮してこなかった。きょうから我々は変わります」

一方、この演説の前の記者会見での小泉大臣の発言が海外メディアで報道されました。

小泉環境大臣：「気候変動のような大きな問題は楽しく、カッコ良く、セクシーであるべきだ」

ロイター通信はこの発言を取り上げ、「日本の新しい環境大臣が『気候変動との戦いをセクシーに』と発言した」と大きく報じました。ロイター通信はまた、日本が23日の気候行動サミットで発言しないことや火力発電を増やしていることを指摘し、日本政府の地球温暖化問題への取り組みに懐疑的な見方を示しています。

- ③ 国連で気候変動について若者たちが話し合う、『ユース気候サミット』に広島の高校生が参加し、22日、ニューヨークの国連本部で、小泉環境大臣と意見交換しました。

ユース気候サミットに参加しているのは広島市安佐南区の県立安古市高校2年の牧本武蔵さん16歳です。

国連本部には小泉環境大臣も気候変動サミット出席のため訪れていて、牧本さんと意見を交わしました。

小泉大臣は牧本さんが、気候変動対策を求める活動で有名なスウェーデンのグレタ・トゥンベリさんと同じ16歳ということで期待感を示しました。